

## 京都市の子どもの数

### - 中京区，下京区で増加 -

平成 15 年 4 月 1 日の子どもの数（14 歳以下の人口）は 183,682 人で，前年に比べて 983 人（0.5 歳）減少していますが，総人口に占める割合は 12.6 歳で，前年と同率になっています。

これを男女別にみますと，男子が 94,127 人（前年比 684 人減），女子が 89,555 人（前年比 299 人減）となっています。

年齢 3 区分別にみますと，乳幼児（0～5 歳）が 74,284 人（総人口の 5.1 歳），小学生（6 歳～11 歳）が 72,414 人（同 5.0 歳），中学生は 36,984 人（同 2.5 歳）となっています。

子どもの数を行政区別にみますと，増加したのは下京区が 137 人（対前年増加率 2.0 歳）増，中京区が 34 人（同 0.3 歳）増となっています。その他の区では減少となっています。

総人口における子どもの数の割合をみますと，最も高いのは西京区で 15.7 歳，逆に最も低いのは東山区で 7.9 歳となっています。

平成 13 年からの推移を年齢 3 区分別にみますと，今年は前年より小学生が増加しましたが，乳幼児，中学生は減少し続けています。

行政区別にみますと，乳幼児の数は中京区，下京区で 2 年連続の増加となっています。小学生の数は中京区，西京区，伏見区で 2 年連続の増加，山科区，右京区で前年より増加となっています。中学生の数は

表 - 1 京都市の子どもの数

行政区	平成 15 年			年齢別			総人口に占める割合(%)	各年 4 月 1 日現在	
	総数	男	女	0～5歳	6～11歳	12～14歳		平成 14 年 (総数)	対前年増 加率(%)
京都市	183,682	94,127	89,555	74,284	72,414	36,984	12.6	184,665	0.5
北区	14,914	7,734	7,180	5,684	6,129	3,101	12.0	15,005	0.6
上京区	8,033	4,011	4,022	3,038	3,283	1,712	9.6	8,093	0.7
左京区	18,687	9,559	9,128	7,189	7,452	4,046	11.0	18,928	1.3
中京区	9,978	5,066	4,912	4,066	3,911	2,001	10.3	9,944	0.3
東山区	3,361	1,685	1,676	1,215	1,365	781	7.9	3,419	1.7
山科区	18,048	9,181	8,867	7,607	6,971	3,470	13.2	18,057	0.0
下京区	7,052	3,591	3,461	2,935	2,667	1,450	9.7	6,915	2.0
南区	12,818	6,622	6,196	5,270	4,944	2,604	13.1	13,015	1.5
右京区	25,549	13,120	12,429	10,145	10,205	5,199	13.1	25,678	0.5
西京区	24,449	12,487	11,962	10,227	9,544	4,678	15.7	24,634	0.8
伏見区	40,793	21,071	19,722	16,908	15,943	7,942	14.2	40,977	0.4

表 - 2 年齢 3 区分別子どもの数の推移

行政区	0～5歳			6～11歳			12～14歳		
	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年
京都市	74,827	74,798	74,284	72,416	72,285	72,414	38,963	37,582	36,984
北区	5,711	5,697	5,684	6,088	6,170	6,129	3,237	3,138	3,101
上京区	3,021	3,049	3,038	3,288	3,298	3,283	1,813	1,746	1,712
左京区	7,270	7,307	7,189	7,573	7,487	7,452	4,283	4,134	4,046
中京区	3,946	4,062	4,066	3,881	3,910	3,911	2,080	1,972	2,001
東山区	1,236	1,226	1,215	1,416	1,384	1,365	881	809	781
山科区	7,646	7,656	7,607	6,956	6,900	6,971	3,618	3,501	3,470
下京区	2,779	2,794	2,935	2,668	2,671	2,667	1,462	1,450	1,450
南区	5,393	5,349	5,270	5,010	4,950	4,944	2,790	2,716	2,604
右京区	10,275	10,238	10,145	10,287	10,150	10,205	5,410	5,290	5,199
西京区	10,503	10,384	10,227	9,410	9,445	9,544	5,056	4,805	4,678
伏見区	17,047	17,036	16,908	15,839	15,920	15,943	8,333	8,021	7,942

は中京区だけが前年より増加となっており、下京区は前年と比べ増減なしとなっています。

### 全国との比較

#### - 全国と比べて子どもの割合低い -

全国の平成 15 年 4 月 1 日の子どもの数（14 歳以下の人口）は 1801 万人で、前年に比べて 17 万人減少し、総人口に占める割合は 14.1 ㊦で、前年に比べて 0.2 ポイント低下しています。

これを男女別にみますと、男子が 923 万人（前年比 9 万人減）、女子が 878 万人（前年比 8 万人減）となっています。

年齢 3 区分別にみますと、乳幼児（0～5 歳）が 705

万人（総人口の 5.5 ㊦）、小学生（6 歳～11 歳）が 720 万人（同 5.6 ㊦）、中学生は 377 万人（同 3.0 ㊦）となっています。

全国と京都市の、総人口に占める子どもの割合を比較しますと、京都市の方が 1.5 ポイント小さくなっています。

昭和 10 年からの推移をみますと、全国、京都市とも第 2 次ベビーブーム後の昭和 50 年には子どもの総人口に占める割合は増加しましたが、その後は減少し続けています。平成 15 年の子どもの数は、昭和 50 年時と比べますと全国で 66.1 ㊦、京都市で 58.1 ㊦になっています。そして、割合についても全国で 10.2 ポイント、京都市で 9.0 ポイント減少しており、少子化傾向が続いています。

表 - 3 子どもの数の推移

年次	全国			京都市		
	総人口 (万人)	うち子供の数 (0～14歳) (万人)	総人口に占める 割合(%)	総人口 (人)	うち子供の数 (0～14歳) (人)	総人口に占める 割合(%)
昭和10年	6,925	2,555	36.9	1,080,593	328,004	30.4
25年	8,411	2,979	35.4	1,101,854	349,641	31.7
35年	9,430	2,843	30.2	1,284,818	307,079	23.9
45年	10,467	2,515	24.0	1,419,165	287,573	20.3
50年	11,194	2,723	24.3	1,461,059	316,294	21.6
55年	11,706	2,752	23.5	1,473,065	309,970	21.0
60年	12,105	2,604	21.5	1,479,218	282,809	19.1
平成2年	12,361	2,254	18.2	1,461,103	231,463	15.8
7年	12,557	2,003	16.0	1,463,822	200,258	13.7
12年	12,693	1,851	14.6	1,467,785	187,574	12.8
13年	12,703	1,833	14.4	1,462,452	186,206	12.7
14年	12,733	1,818	14.3	1,462,487	184,665	12.6
15年	12,753	1,801	14.1	1,462,083	183,682	12.6

資料) 総務省統計局統計調査部国勢統計課人口推計係「人口推計月報」・「統計局インフォメーション」、京都市情報統計課 平成12年までは国勢調査人口（京都市の平成12年の子供の数には年齢不詳分を案分して求めた数値を利用しています。）、平成13年以降は推計人口。平成13年以降は4月1日現在、その他はいずれも10月1日現在。